


## 【作り方説明書】

総裏地ブレザーの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40cm ソフビ</li> <li>・ 50cm ソフビ</li> <li>・ 58cm ソフビ M,L,LL</li> </ul> <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー/ノーマル/【ハード】/【ハード↑】/エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地 of 厚み</p> <p>0.23mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通～やや薄手の生地</li> <li>・ 薄手の生地(裏地用)</li> <li>・ スナップ</li> <li>・ くるみボタン</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40cm 用のサイドポケット表布は型紙より大きめに切る。</li> </ul> <p>サイドポケット裏布は布に写さず、表布と同じくらいに切るだけよい。</p> <p>※58cm 用も、縫い辛い場合は同じ方法で OK</p> 
<p>■布に書き出すパーツリスト</p> <p>①②袖 2枚→左右反転して2枚</p> <p>③④袖裏布 2枚→ //</p> <p>⑤⑥後身頃 2枚→ //</p> <p>⑦⑧後身頃裏布 2枚→ //</p> <p>⑨⑩前身頃裏布 2枚→ //</p> <p>⑪⑫後脇 2枚→ //</p> <p>⑬⑭後脇裏布 2枚→ //</p> <p>⑮⑯見返し 2枚→ //</p>	<p>⑰⑱前脇 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑲⑳前脇裏布 2枚→ //</p> <p>㉑㉒前身頃 2枚→ //</p> <p>㉓㉔襟 2枚→そのまま2枚</p> <p>㉕㉖サイドポケット 2枚→ //</p> <p>㉗㉘サイドポケット裏布 2枚→ //</p> <p>㉙胸ポケット 1枚→そのまま1枚</p> <p>合計：29枚 のパーツで構成</p>

■必要な布量参考数値

【総裏地ブレザー 40cm】  
横90cm

縦34cm



縦34cm  
\*別布

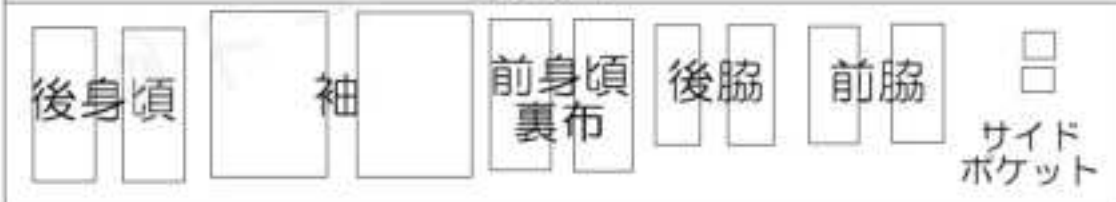


【総裏地ブレザー 40cm】  
横110cm

縦34cm



縦20cm  
\*裏布



【総裏地ブレザー 40cm】  
横140cm



【総裏地ブレザー 50cm】  
横90cm





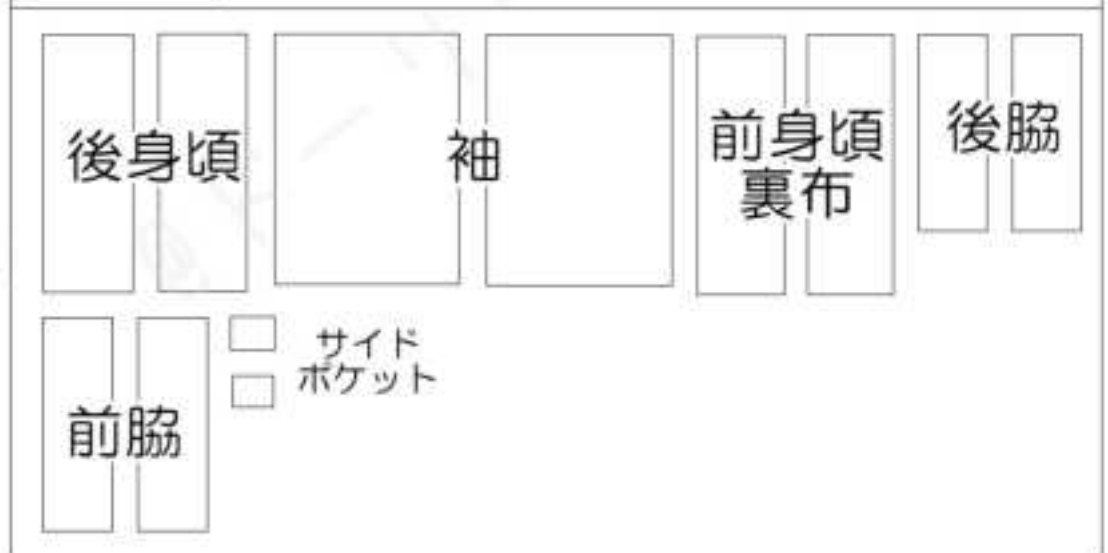
# 【総裏地ブレザー 58cmM,LL】

横90cm

縦48cm



縦45cm  
\*別布



## 【総裏地ブレザー 58cmM,LL】

横110cm

縦48cm



縦25cm  
\*別布



## 【総裏地ブレザー 58cmM,LL】

横140cm

縦35cm



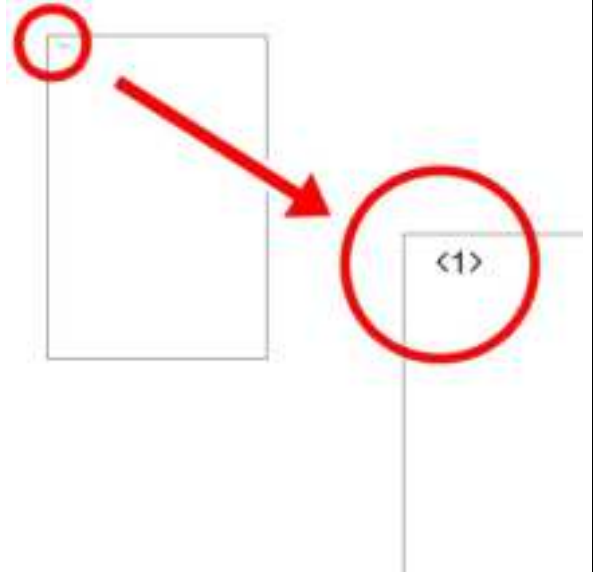
縦25cm



## 01. 型紙を貼り合わせる。※一例を挙げて説明しています。

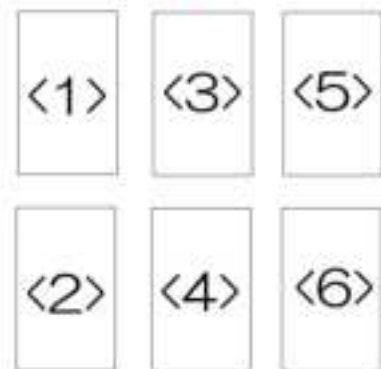
- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。  
 ※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。  
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。  
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

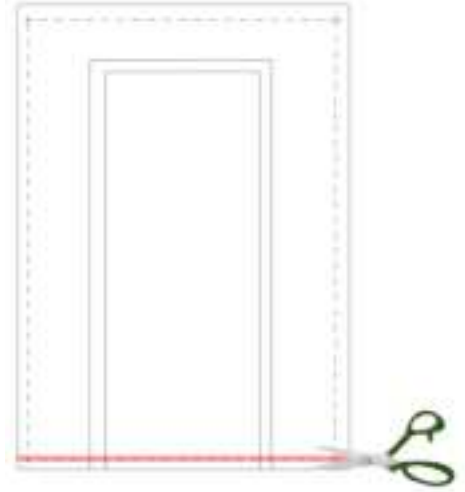


- ② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

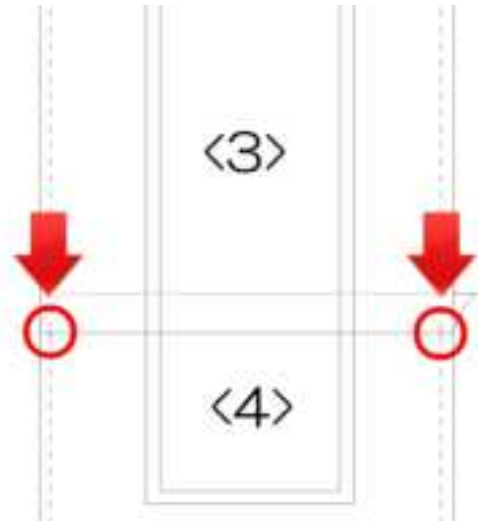
「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

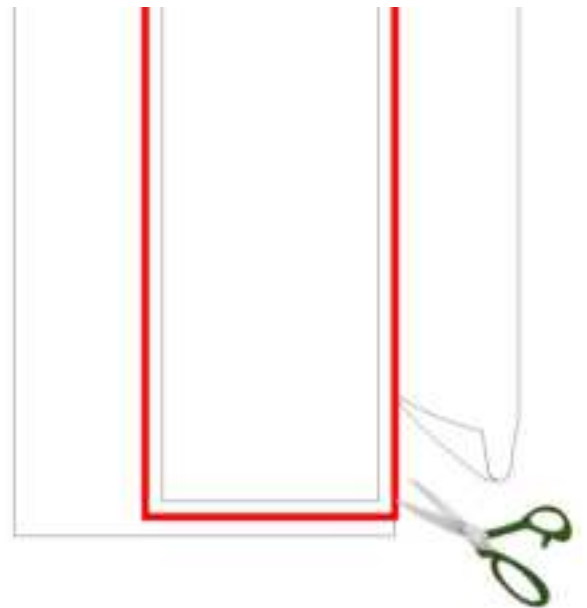


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



02. 型紙を切り取る。

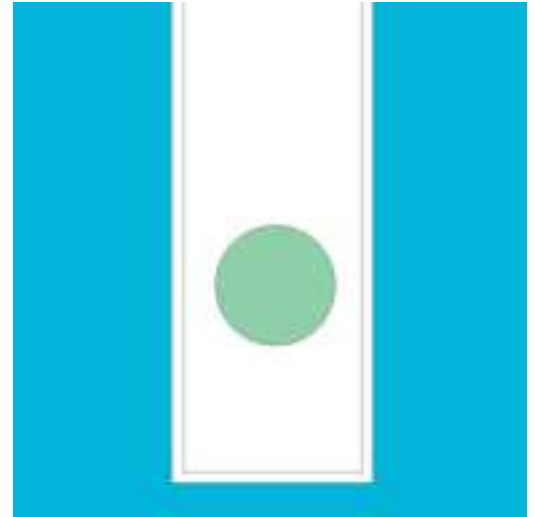
〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用  
しています。〕





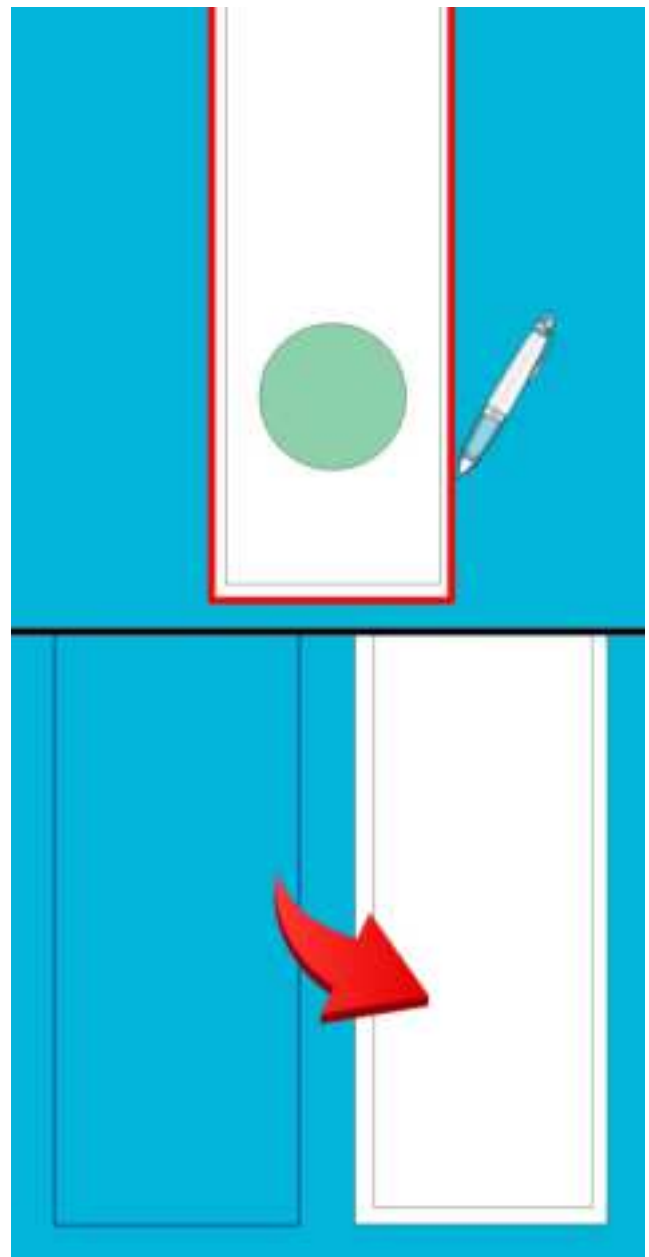
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で  
型紙が動かない様にする。〕

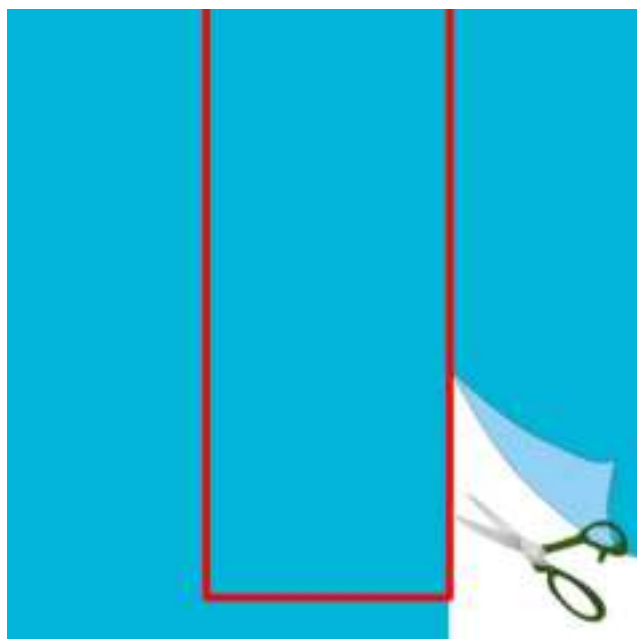


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。

〔※オススメのチャコペン  
・カリスマシャープペンシル  
・クロバー 水性チャコペン〕

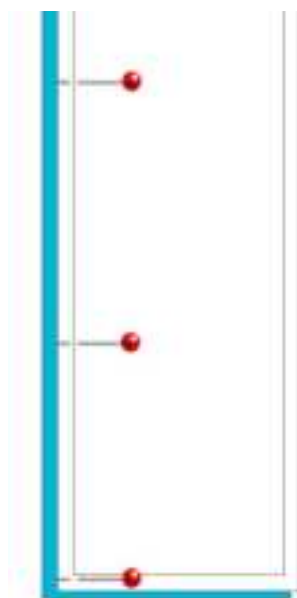


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕

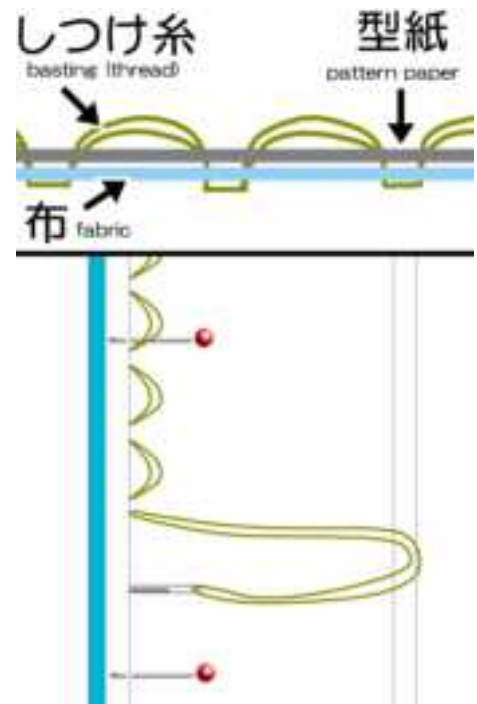


- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- 型紙から刺す
- 布を刺す
- 0.3cm 程度すくうように縫う
- 型紙を刺す
- 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



布の表  
right side

- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。

型紙側  
Paper pattern side

合い印  
matchmarks

布の表  
right side

④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



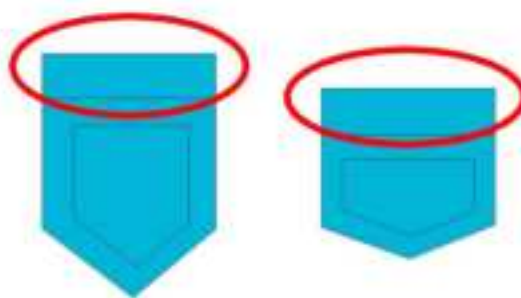
⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。  
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



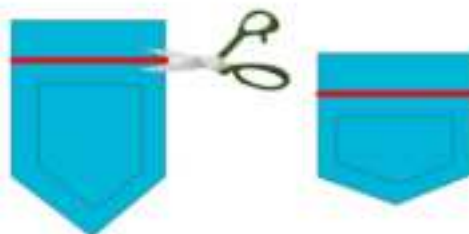
08. 胸ポケット、サイドポケット上部に解れ止め液を塗る。  
 [上部は縫い代より少し広めに切り出す。



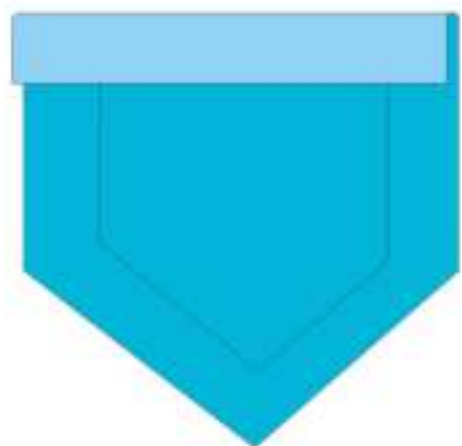
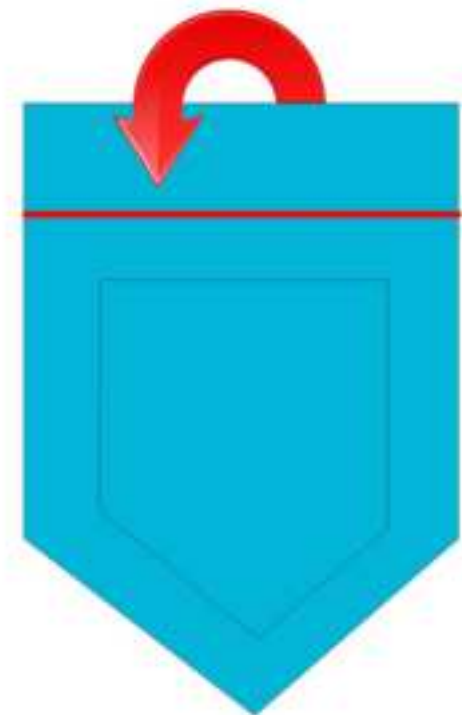
Tips: 解れ止め液の代わりに、半田ごてで布を溶かして切る方法もある。



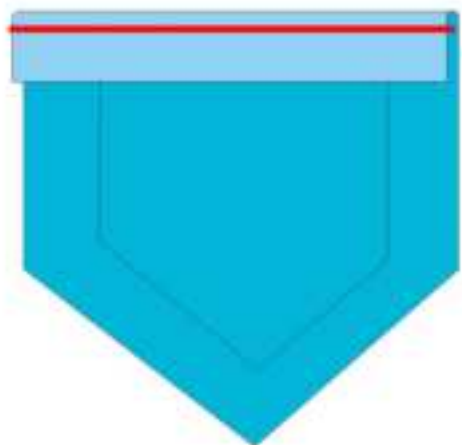
09. 胸ポケット、サイドポケット×2 の上部を出来上がり線で切る。



10. 胸ポケットの上部を、出来上がり線で折る。

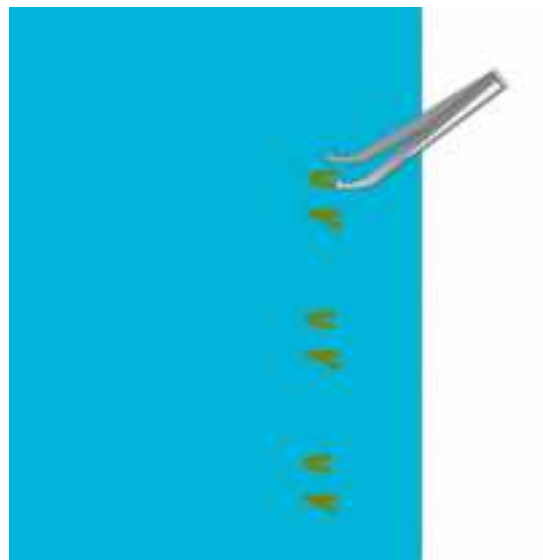


11. 胸ポケット上部の縁を縫う。

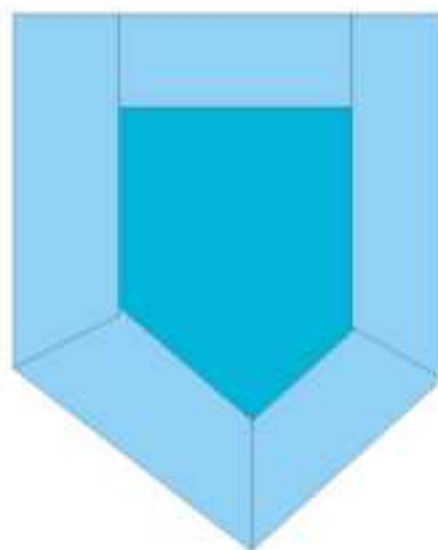
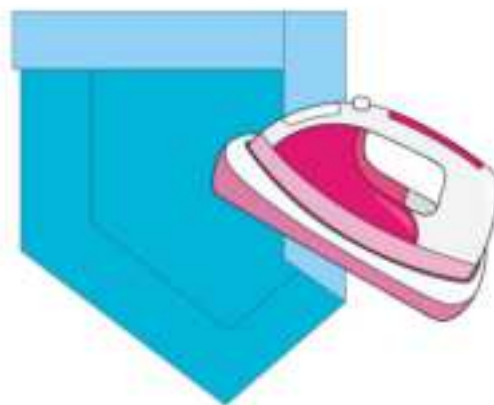


12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



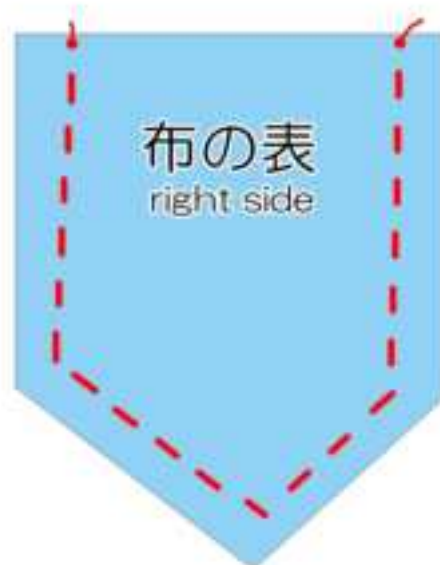
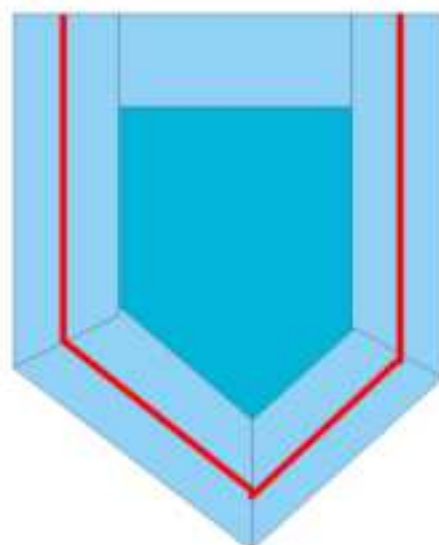
13. 胸ポケットの縫い代をアイロンで折る。





## 14. 胸ポケットの縁を仮縫いをする。

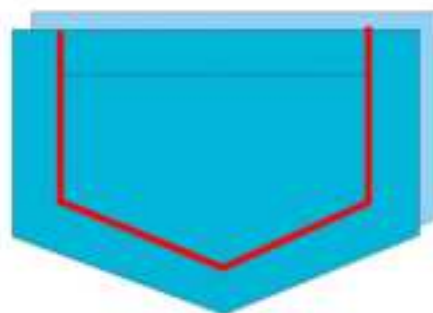
〔 仮縫いの玉止めは、表側にしておくと  
後の作業が楽になる。〕



## 15. 表が内側になる様に、

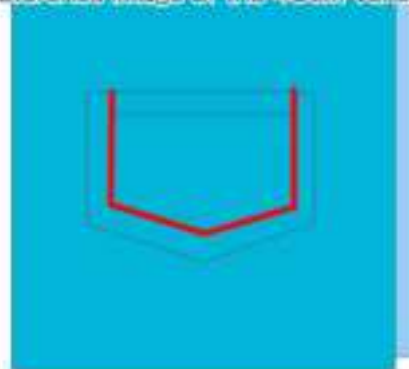
サイドポケットを表布と裏布を合わせて上部以外を縫う。

〔 40cm 用はパーツが小さい為、  
表布は型紙より大きめに切る方法がよい (1 ページ目参照)。  
他サイズも縫い辛い場合はこの方法がおすすめ。  
もう一枚も同じように縫う。〕

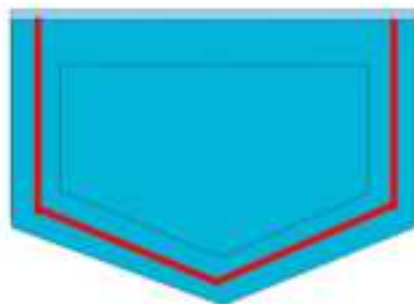


## 40cm用作製時参考画像

Reference image of the 40cm version



- 
16. サイドポケットの縫い代を2mm程度にカットする。  
〔もう一枚も同じようにカットする。〕



- 
17. サイドポケットを表に返す。  
〔もう一枚も同じように返す。〕



18. 胸ポケット、サイドポケット×2 にアイロンをかける。



19. 前身頃×2、後身頃×2、前脇×2、後脇×2 の W に切り込みを入れる。

[W:ウエスト。胴体で一番くびれたところ。]

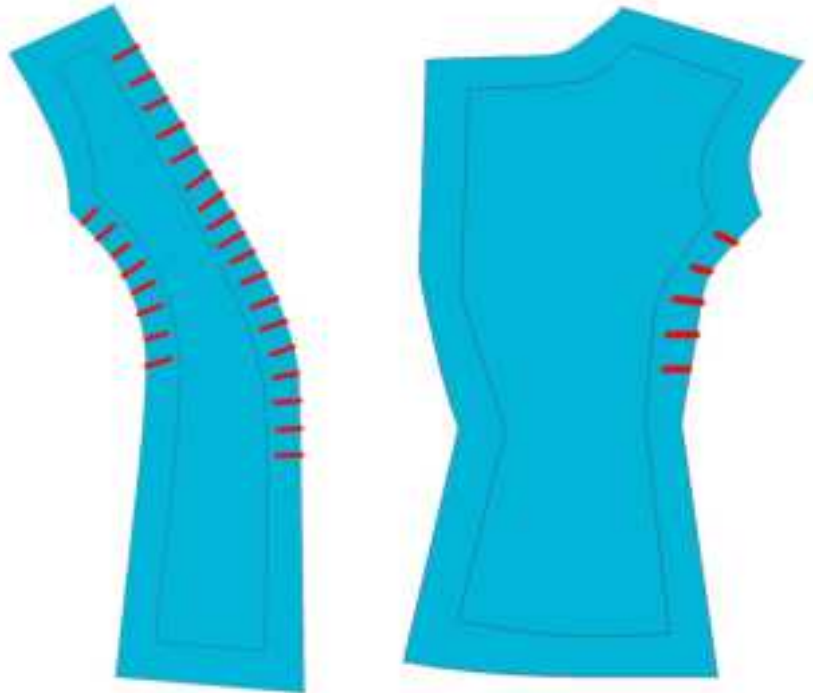




---

20. 前身頃×2、前身頃 裏布×2、後身頃×2  
のカーブに切り込みを入れる。



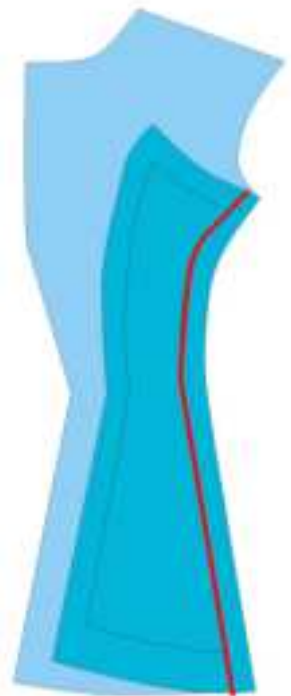


21. 表が内側になる様に、後身頃と後脇を合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。

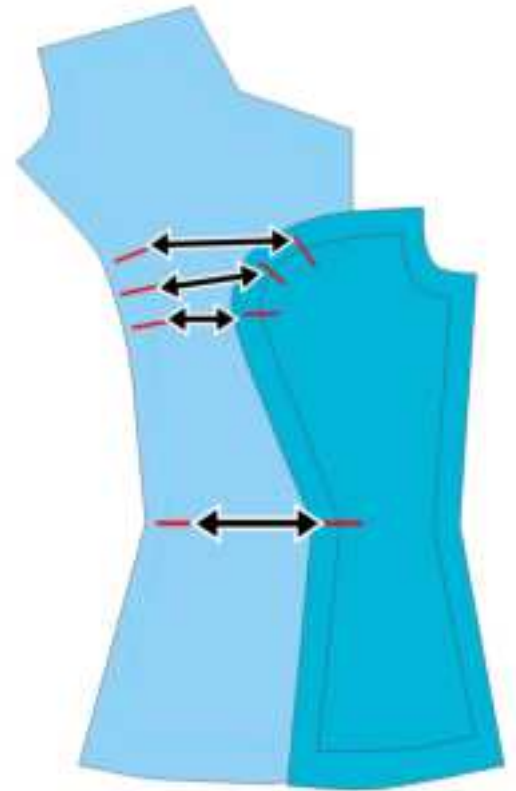
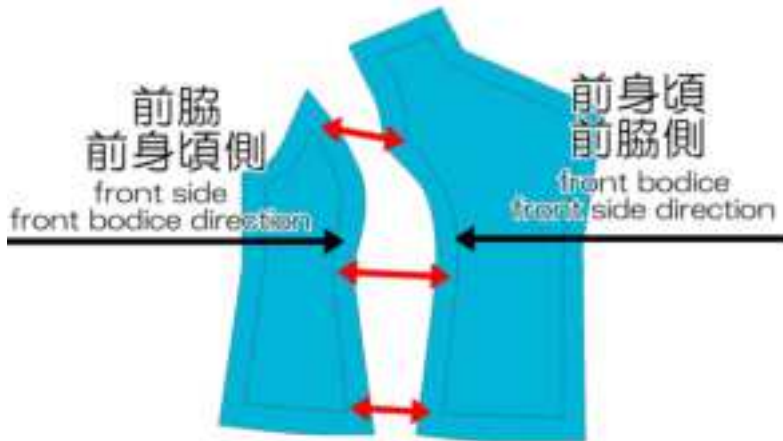
ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、

ミシンをやめて手縫いでも OK。(前身頃も同様)



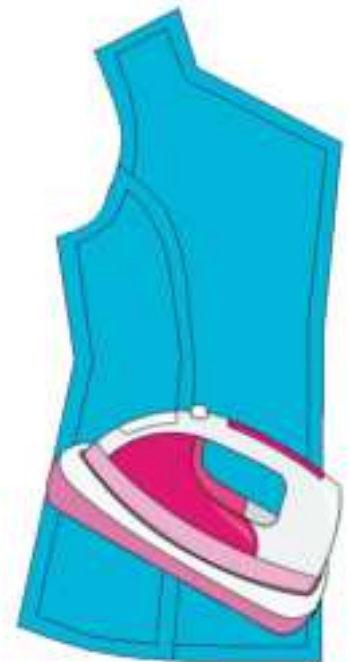
22. 前身頃と脇の W、三 を、目印に表が内側になる様に合わせて縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



23. 縫い代を前身頃に倒して、アイロンをかける。

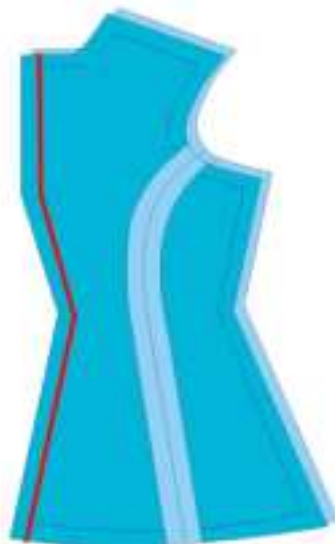
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



24. 後身頃と、後脇の縫い代を開いてアイロンをかける。  
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



- 
25. 表が内側になる様に、後身頃同士を合わせて縫う。

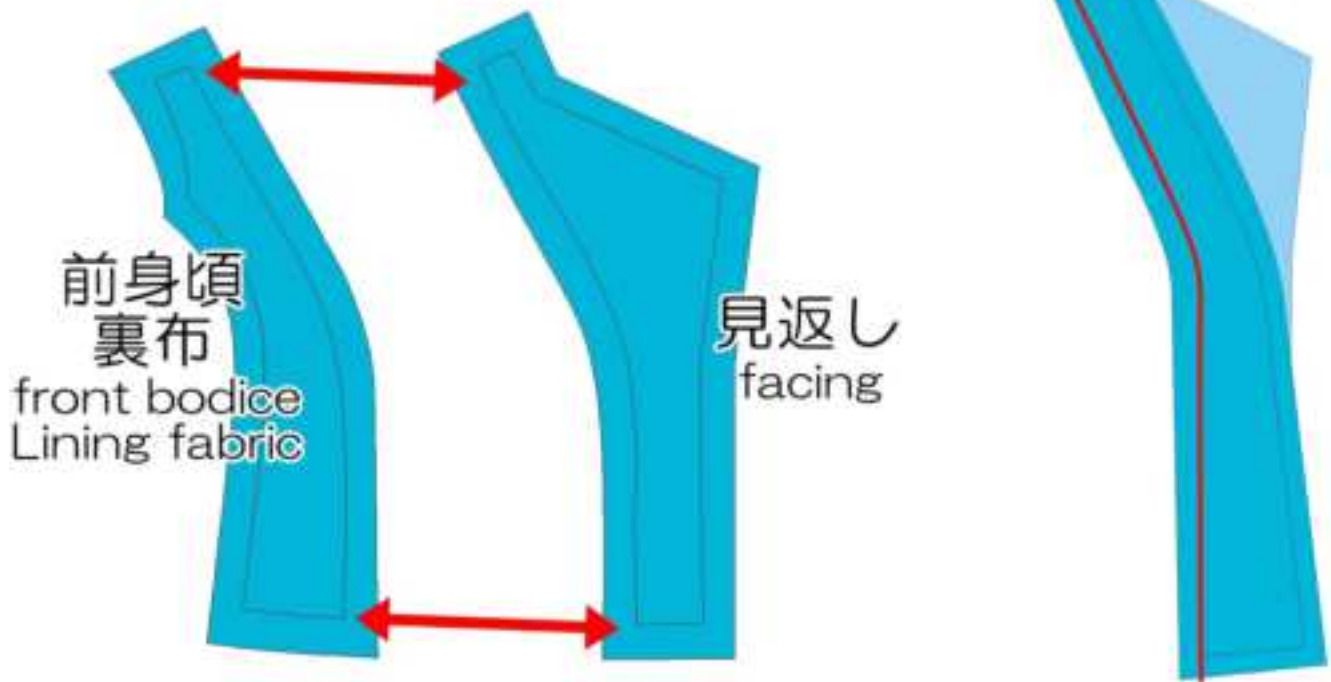


26. 25で縫ったところの縫い代を、左右に開いてアイロンをかける。



27. 表が内側になる様に、見返しと前身頃裏布を合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



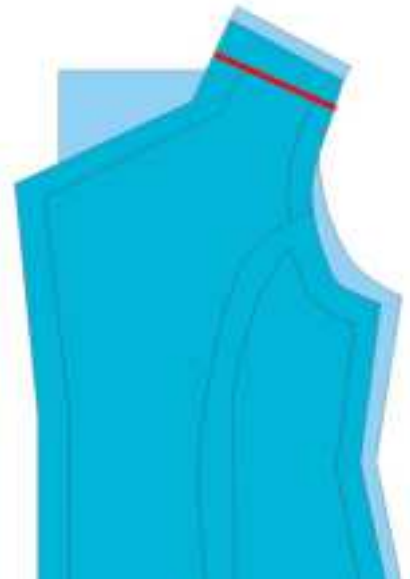


28. 縫い代を、前身頃 裏布側に倒してアイロンをかける。  
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



29. 裏布も同じように進める。  
30. 表が内側になる様に、前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

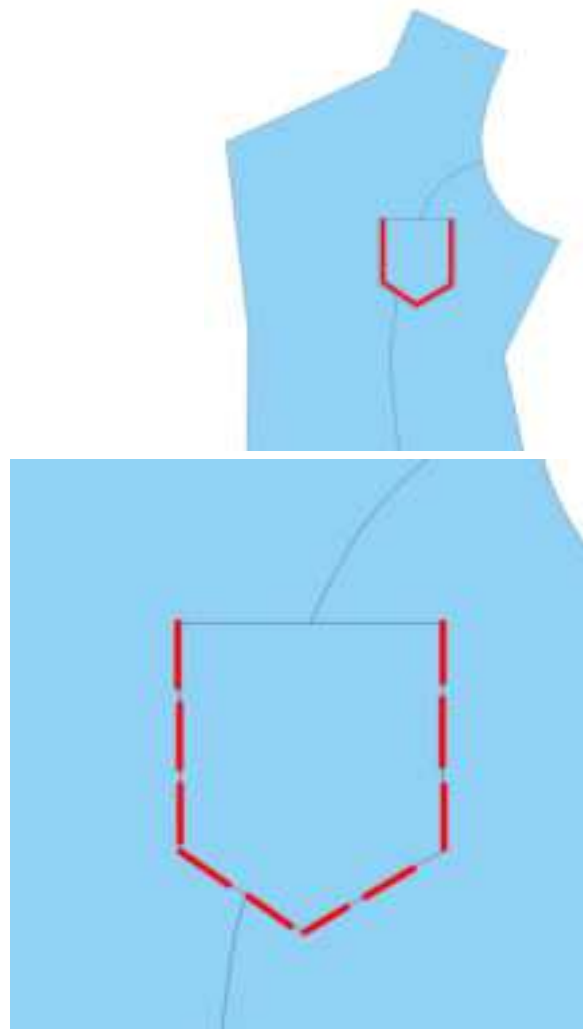
〔 表布は表布同士、裏布は裏布同士で合わせる。  
表布と裏布を一緒に縫ってしまうと、  
この後の工程が出来なくなる為注意。  
反対側も同じように縫う。〕



31. 30で縫った肩の縫い代を開いてアイロンをかける。  
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

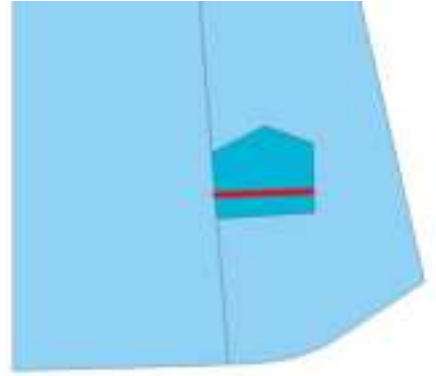


32. 前身頃(表)に胸ポケットを縫い付ける。  
〔 ミシンで縫い辛い場合や、縫い目が目立つと  
思う場合はまつり縫いでも OK。〕



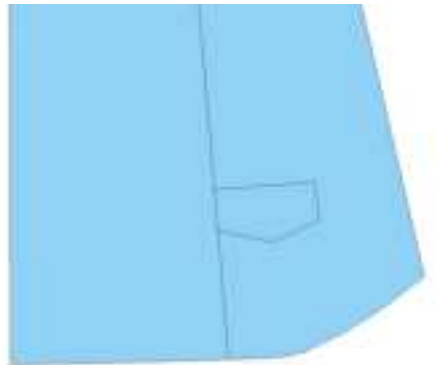
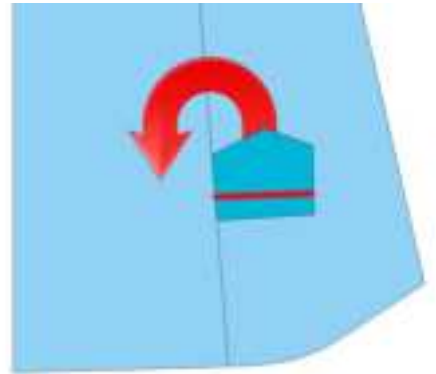
33. サイドポケットの ▲ 部分を上にし、  
前身頃(表)の”ポケット付け位置”に縫い付ける。

〔 縫い付ける位置が表からでは分かり辛い時は、  
消えるチャコペンで薄く表から縫い付ける線を引くと良い。  
反対側も同じように縫う。〕



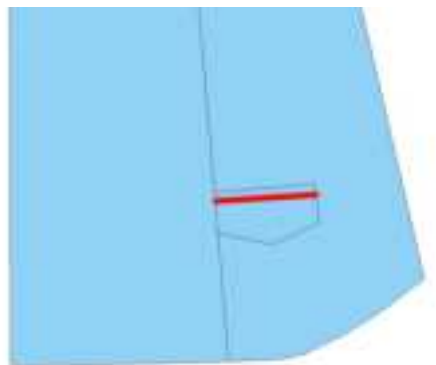
34. サイドポケットを折り返す。

〔 反対側も同じように折り返す。〕



35. 折り返したサイドポケットの縁を縫う。

〔 ミシンで縫い辛い場合や、縫い目が目立つと  
思う場合はまつり縫いでも OK。  
反対側も同じように縫う。〕





36. 前身頃の、右図の位置に切り込みを入れる。  
 [ 反対側も同じように切り込みを入れる。

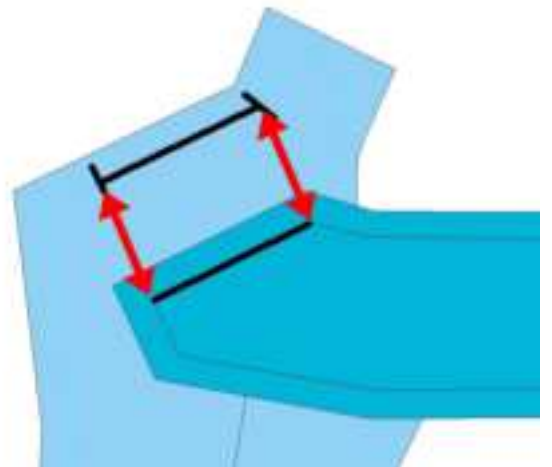


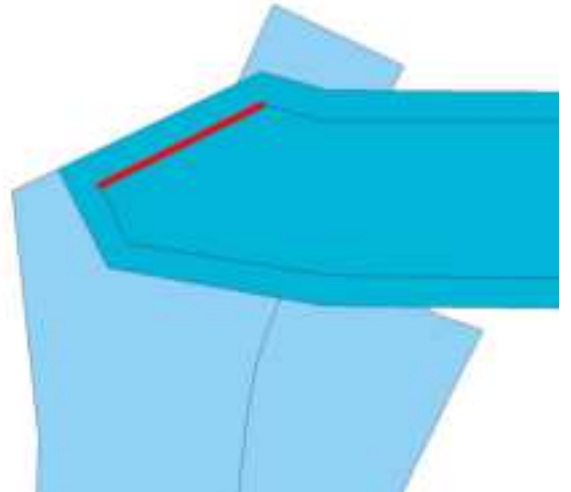
37. 後身頃の襟のカーブに切り込みを入れる。



38. 表が内側になる様に前身頃の線と、  
 襟の線を合わせて縫う。

線から縫い目のはみ出さない様にする。  
 縫い終わりは、ミシンの速度を落とすか手縫いにする  
 と失敗が少ない。  
 反対側も同じように縫う。





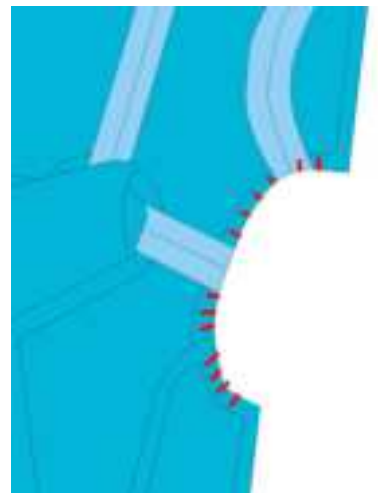
39. 表が内側になる様に前後身頃の線と、襟の線を合わせて縫う。

線から縫い目が見え出さない様にする。  
縫い終わりは、ミシンの速度を落とすか手縫いにすると失敗が少ない。



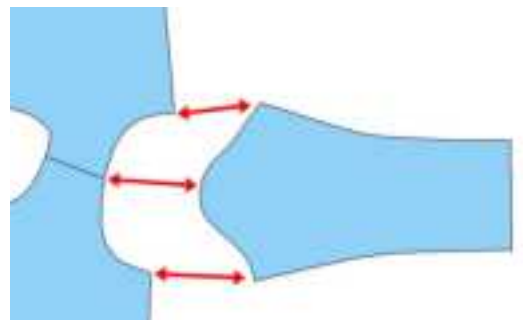
40. 袖ぐりに切り込みを入れる。

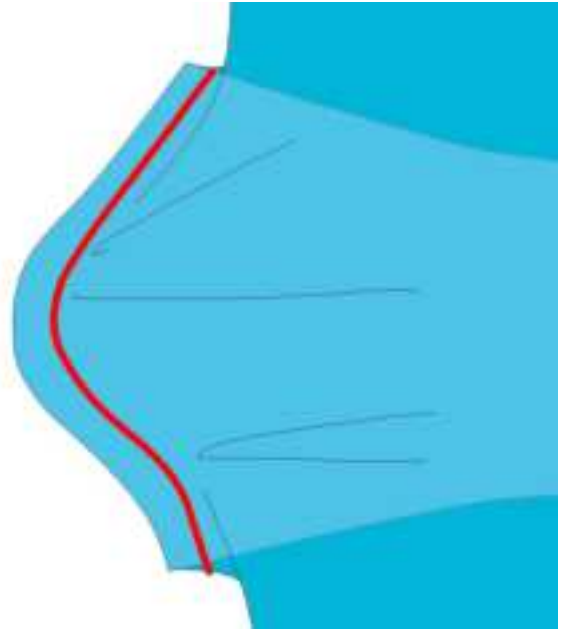
袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ  
反対側も同じように切り込みを入れる。



41. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、手縫いでも OK。





42. 41 で縫った縫い代を袖側に倒して、アイロンをかける。  
 [ 反対側も同じようにアイロンをかける。



横から見た時

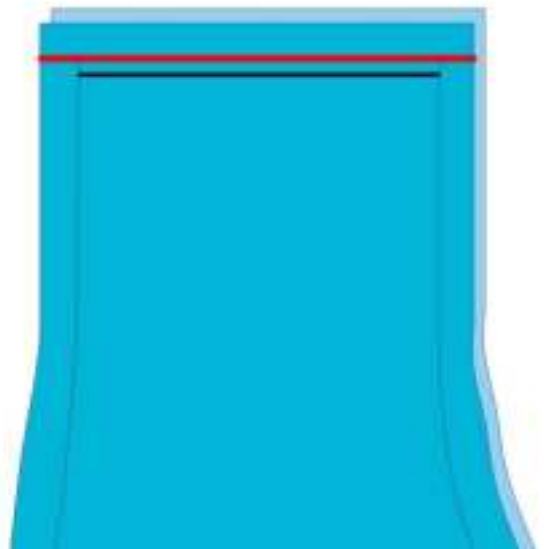
Side view



43. 裏布も同じように進める。  
 [ 胸ポケット、サイドポケットは表布のみ。

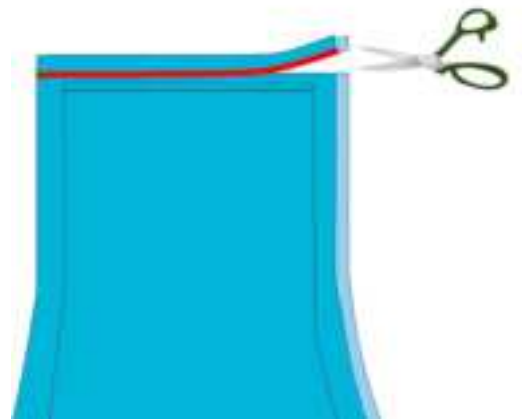
44. 表が内側になる様に、表布の袖口と裏布の袖口を合わせて縫う。

- 〔 折り返し線で縫わない様に注意。
- 〔 反対側も同じように縫う。
- 〔 反対側を縫う時表布と裏布を、ねじれた状態で縫わない様に注意する。



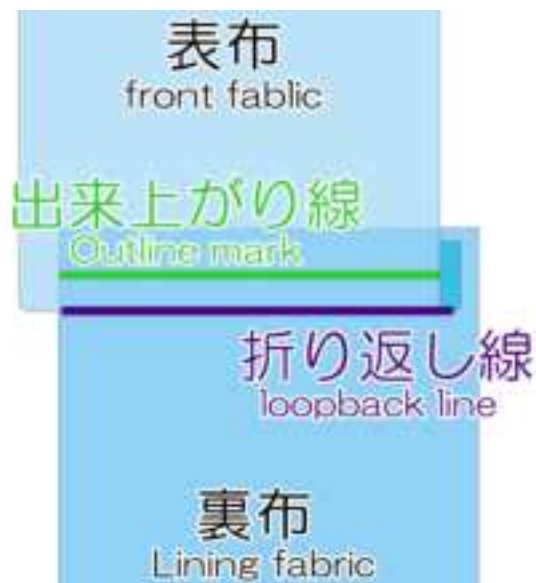
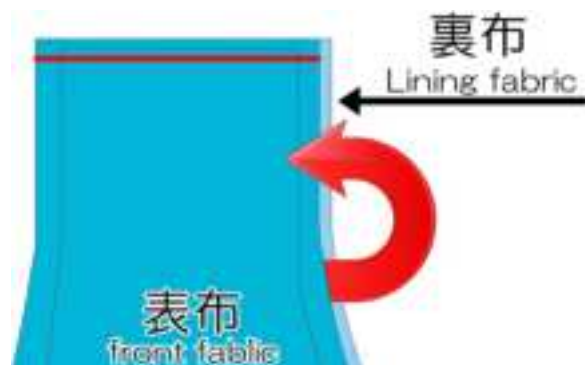
45. 縫い代を、44 で縫った線から 3mm 外側でカットする。

- 〔 反対側も同じようにカットする。



46. 袖口の折り返し線で表布を折る。

〔 裏布が表布より少し内側になり、  
袖口から裏布が飛び出し辛くなる。  
表に縫い目が見える“ステッチ”は縫わない。  
縫ってしまうと、  
この後の工程が出来なくなる為注意。  
反対側も同じように折る。〕



47. 46 で折ったところにアイロンをかける。

〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

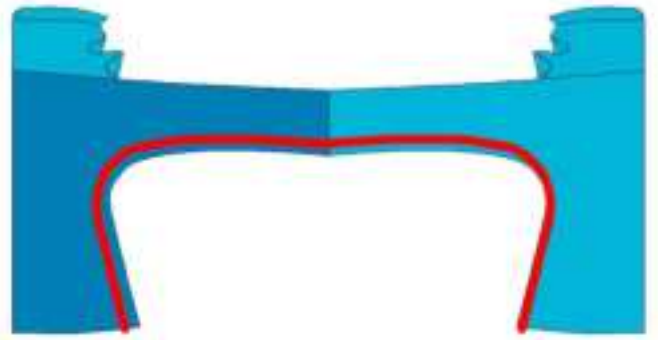




48. 表が内側になる様に、表布、裏布それぞれ背中で折る。



49. 裏布脇→裏布袖→表布袖→表布脇の順に縫う。  
〔反対側も同じように縫う。〕



50. 51 で縫ったところを、後身頃側に縫い代を折ってアイロンをかける。

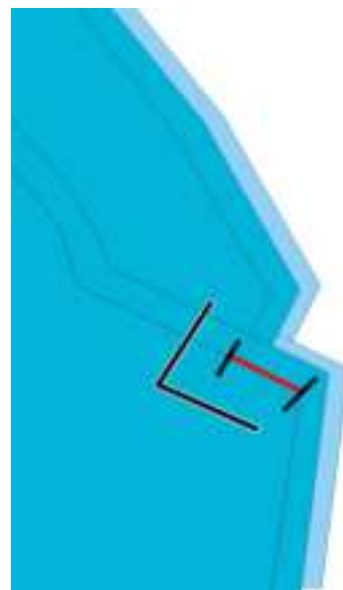


51. 表が内側になる様に図の様に身頃を合わせ、繋がった袖を身頃の裾部分に移動する。  
〔身頃を合わせる時に、袖が捻じれない様に注意。〕



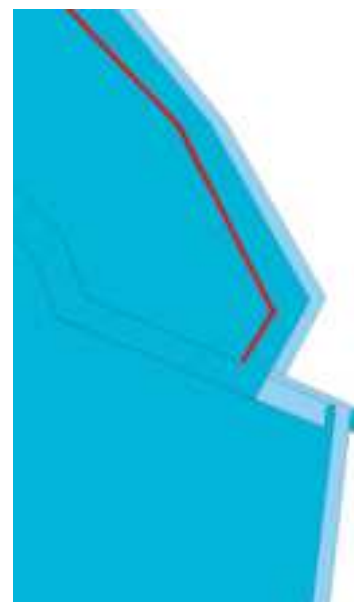
52. 襟の“く”の字の下部を縫う。

- 〔 身頃と襟の縫い代は避ける。
- 縫い目のはみ出さない様にする。
- 縫い終わりは、ミシンの速度を落とすか手縫いにすると失敗が少ない。
- 反対側も同じように縫う。



53. 襟の残りの部分を縫う。

- 〔 身頃と襟の縫い代は避ける。
- 縫い目のはみ出さない様にする。
- 縫い終わりは、ミシンの速度を落とすか手縫いにすると失敗が少ない。
- 続けて反対側も同じように縫う。



54. 表が内側になる様に図の様に身頃を合わせ、繋がった袖を身頃の裾部分に移動する。

- 〔 身頃を合わせる時に、袖が捻じれない様に注意。

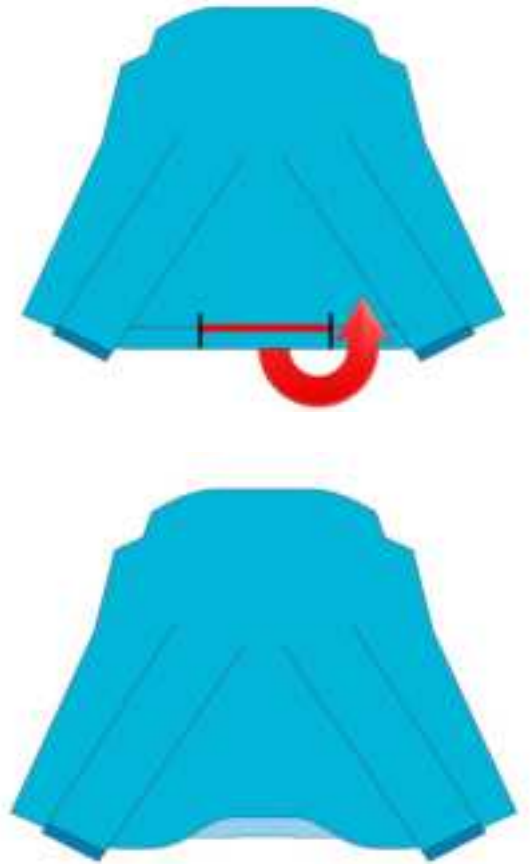


55. 53 で縫った角から、後身頃の開き止まりまで縫う。

- 袖と一緒に縫わない様に注意。
- 54 の身頃と襟の縫い代は避ける。



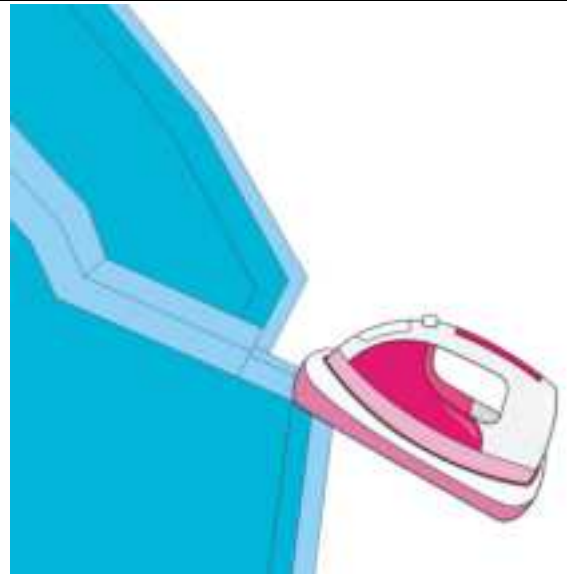
56. 身頃下部の開きを折る。



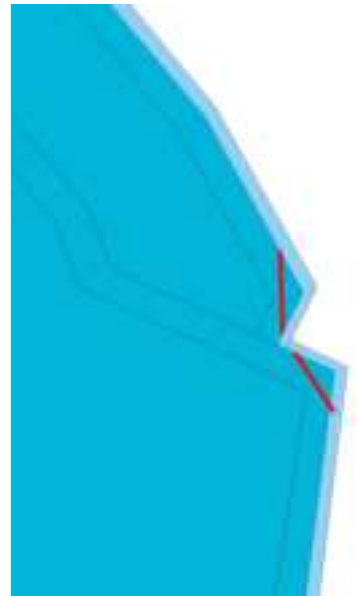
57. 56 で折ったところにアイロンをかける。



58. 襟の縫い代を左右に開いてアイロンをかける。  
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



59. 襟の角をカットする。  
〔 出来上がり線から 2mm くらい外側。  
反対側も同じようにカットする。〕

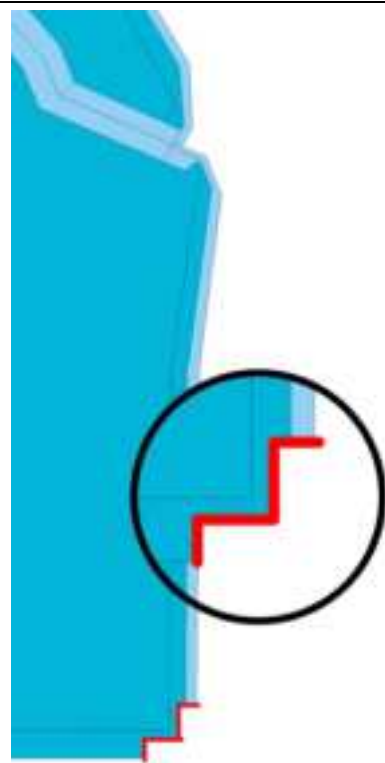




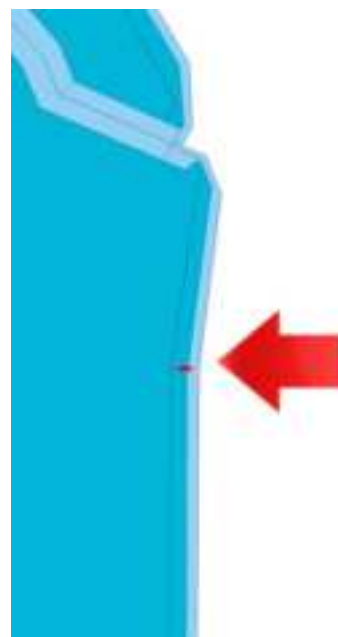
---

60. 前身頃裾の角をカットする。

- 出来上がり線から 2mm くらい外側。
- 反対側も同じようにカットする。



61. 前身頃の“く”の字にくびれたところに切り込みを入れる。  
 [ 反対側も同じようにカットする。



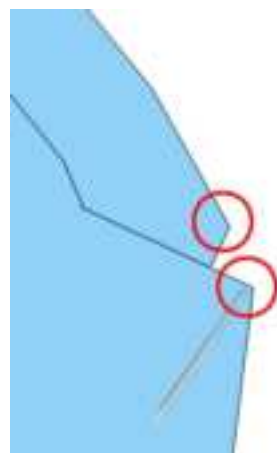
62. 身頃裾の開きから表に返す。  
 [ 袖の表布と裏布両方が中に入った状態になる。



63. 表布側から表布だけをつまむ感じで外に出す。  
 [ 袖口が表布と裏布つながっているので、  
 表布を外に出せば袖も表に返る事になる。  
 [ 反対側も同じように引き出す。



64. 襟などの角を太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。  
〔反対側も同じように角を出す。〕



65. 襟の縫い代が重ならないように整える。  
〔反対側も同じように整える。〕



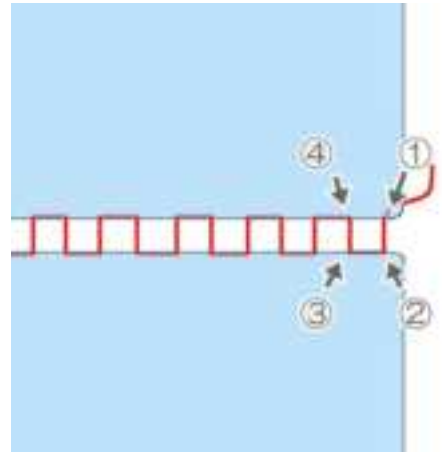
66. 袖口の縫い代を後身頃側(背中側)になる様にする。  
〔指で出来ない場合は“靴下用編み棒”などの先端が少し丸くて柄が長いものがおすすめ。〕  
〔反対側も同じように整える。〕



## 67. 裾の開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を4mm程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

〔 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが違う等のトラブルが起き辛い。〕



## 68. 縁を一周ぐるっと縫う。

〔 袖を巻き込まない様に注意〕



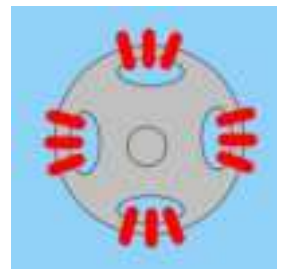
Tips : ドールはサイズが小さい分、

布の弾力にシルエットが負ける事がある。

使う布によっては“折り目加工液”を塗布して強制的に折る方が綺麗に仕上がる。



## 69. スナップと飾りボタンを付ける。





お疲れ様でした！